

告示	番号	55	内分泌疾患
	疾病名	腺腫様甲状腺腫	

腺腫様甲状腺腫

せんしゅようこうじょうせんしゅ

概念・定義

甲状腺内に結節の多発する疾患であり、腺腫様に増殖を示す部分、過形成を示す部分、およびほとんど正常の部分が混在する。病理所見としては、肉眼的には数個の結節を認めることが多い。結節はしばしば出血、壊死、嚢胞形成、結合織増生、石灰沈着などの二次的変化を伴う。

症状

結節状に腫大した甲状腺腫を認める。結節がはっきりしない場合も多い。稀に巨大な甲状腺腫のため気管や食道への圧迫症状を呈することがある。

治療

腺腫様甲状腺腫は腫瘍性疾患ではないので、基本的には外科治療の必要はなく、通常経過観察される。しかし、非常に大きな甲状腺腫、気管

や食道の圧迫症状のある場合、機能性結節を生じた場合、および甲状腺癌の合併が疑われる場合は外科的摘除が考慮される

抜粋元：http://www.shouman.jp/details/5_13_25.html